

I. 貧しい人たちに福音を宣べ伝えること、捕らわれ人たちに解放を告げ知らせること、盲人たちに視力が回復されることを告げ知らせること、圧迫されている人たちを解放して去らせることが、ヨベルの自由と祝福です:

ルカ4:18 「主の霊が私の上にある。彼が貧しい人たちに福音を宣べ伝えるように、私に油を塗られたからである。彼は私を遣わして、捕らわれ人たちには解放を、盲人たちには視力が回復されることを告げ知らせ、圧迫されている人たちを解放して去らせ、19 主の受け入れる年、ヨベルの年を告げ知らせるのである。」

A. レビ記第25章10節の「ヨベル」という言葉の意味は、「叫ぶ時」、あるいは「雄羊の角笛を吹く時」です。雄羊の角笛を吹くことが表徴しているのは、福音を宣べ伝えて、新約のヨベルにおいて、罪の下に売られたすべての罪人に対して自由を告げ知らせることです。それは彼らが神と神の家に戻ってきて、神の救いに対する新約の享受の中で、叫びをもって歓喜するためです。

レビ25:10 あなたがたは五十年目の年を聖別し、全土にわたってすべての住民に、解放をふれ示さなければならぬ。それはあなたがたにとってヨベルである。あなたがたは、それぞれ自分の所有地に帰り、それぞれ自分の家族に帰らなければならない。

B. 私たちの福音の宣べ伝えは、私たちが贖いのラツパを吹いて、世の人に対して次のように告げ知らせることです、「見よ、今は喜んで受け入れられる時です。見よ、今は救いの日です。」これが、ヨベルの年を告げ知らせることです:

① 神は人を創造した時、ご自身をキリストにあって人に与え、人の所有、人の嗣業とすることを意図しました。しかしながら、人は墮落し、墮落において人は彼の所有としての神を失い、罪、サタン、この世の下にある奴隷状態へと自分自身を売ってしまいました。

② 神の新約の救いは、キリストにある神の贖いに基づいて、神の恵みによって完成されました。そして、墮落した人を、神聖な所有としての神へと連れ戻し、人を解放して、罪、サタン、この世の下にある奴隷状態から離れさせ、人を回復して、彼の神聖な家族、すなわち、神の家族へともたらしめます。それは人が神の恵みの中で交わりを享受するためです。【月】

II. 神の救いは、私たちに真の自由を持たせます。私たちの所有は神であり、私たちの自由は、私たちが神を享受することから来ます:

A. 人は神を享受しなければ、真の自由を持つことはできません。自由の意味は、解放です。すなわち、すべての束縛、すべての重荷、すべての圧迫、すべての奴隷状態から自由にされることです。ヨハネ8:32 またあなたがたは真理を知る。そして真理はあなたがたを自由にする。36 だから、子があなたがたを自由にするなら、あなたがたは本当に自由なのである。

B. 私たちの人生のあらゆる事は、私たちに束縛となり得ます。そして私たちは、どのような事柄の下でも奴隷となり得ます。ヨハネ 8:34 イエスは彼らに答えられた、「まことに、まことに、私はあなたがたに言う。罪を犯している者はすべて罪の奴隷である。」

C. まず、サタンは私たちを捕らえました。それから、彼はやって来て、私たちの中に住み、私たちの罪をかき立てる者、扇動する者となります。その結果、彼は私たちの非

合法的な主人となり、私たちは彼の捕虜となってしまいました。そしてついには、私たちは善を行なうことができなくなり、ただ罪を犯すことしかできなくなります:

① もし人が神を持っていなければ、人が神以外に享受しようと試みるものは何であれ、犬のえさ、ちりあきた、ふん土です。

② サタンは、ベルゼブルと呼ばれ、その意味は「ふん塚の君」です。この名の源は、「バアル・ゼブブ」であり、その意味は「はえの君」です。サタンは罪人を導くことを専門としており、それは、はえがふん土を食べるのと同じです。

③ 人はだれも心の深みで、罪を犯したいとは願っていませんが、最終的にあらゆる人が罪を犯します。だれも自分を制御できず、あらゆる人が罪の奴隷となっています。【火】

III. ローマ第7章24節でのパウロの切迫した叫びは、ローマ第8章2節で答えられています。そこでは、命の霊の法則が、キリスト・イエスの中で、罪と死の法則から、私たちが解放したと言っています。これがヨベルとしてのキリストの自由です: 8:2 なぜなら、命の霊の法則が、キリスト・イエスの中で、罪と死の法則から、私を解放したからです。

A. 私たちは命を与える霊としてのキリストを享受することによってのみ、解放され、真の自由を持つことができます。神を享受する者だけが、罪を犯さず、真に自由であり、自由の生活、解放の生活、束縛のない生活を生きます:

① 命の霊の法則は、罪と死の法則から私たちが解放します。この法則は主ご自身であり、彼は死と復活を経過して、命を与える霊と成りました。

② もし私たちが主を十分に享受しなければ、依然として多くの事において束縛の中にあります。決心することは役に立ちません。私たちは絶えず主に来て、彼を食べ、彼を享受しなければなりません。

③ 神を享受する者だけが、罪を実行せず、真に自由です。

④ ヨベルとしてのキリストが、貧しさ、捕らわれること、盲目、圧迫から私たちが解放します。【水】

B. パウロは大いなる発見をしました。パウロが受けた啓示は、三一の神が肉体と成ること、人の生活、十字架、復活、昇天の手順を経て、命の霊の法則となって私たちの霊の中に据えられたということです。

C. 命の霊の法則は、神聖な命の自動的な原則であり、自然な力です。それは神聖な命の自然の特性であり、本来の、自動的な機能です。

D. クリスマスは自分の意志の力によって生きるべきではなく、自分の霊の中にある、復活の命の霊の内なる法則の力によって生きるべきです。この法則は最も大きな力を所有しています。それは死に打ち勝ち、死を超越し、死によって縛られません:

① パウロはローマ第7章において、自分が律法の下で善を行なおうとしていることの苦悩を描写しています。彼が必要としていたのは、深く同情するサマリアの隣人としての主が、墮落し律法に打たれた罪人である自分を顧みて、キリストのからだの実際のために、ご自身を命の霊の法則として彼の中へと分与することでした。

ローマ7:24 何と私は苦悩している者でしょう! だれがこの死の体から、私を救い出してくれるのでしょうか?

② 私たちは、罪と死が私たちの中にある法則であり、私たちの意志の力がこの法則に打ち勝つことができないことを見なければなりません。

③罪が法則であること、私たちの意志が決してこの法則に打ち勝つことができないことを、私たちが見たことがないなら、ローマ第7章の罠に陥っており、決してローマ第8章に到達しません。

④あらゆる命には法則があり、あらゆる命は法則でさえあります。神の命は最高の命であり、命の霊の法則は最高の法則です。

⑤神聖な誕生は、私たちを新しい領域の中へと、すなわち、私たちの霊の中にある、神聖な命とその法則の領域の中へもたらしました。その領域の中には罪、この世、肉はありません：

a この領域において、すべての勝利は自然で、自動的に、無意識であり、努力を要しません。なぜなら、私たちを支えているのは、命の霊の法則であって、私たち自身の意志ではないからです。

b 私たちは、私たちの霊に内住する命の霊の法則を、神の臨在、神の語りかけ、神と会うこと、神の分与として持ちます。【木】

E 私たちは自分の霊を活用して、この法則の「スイッチを入れる」ことによって、据えられておりました内側で活動している命の霊の法則と協力することができます。それは私たちがキリストをヨベルの自由、またヨベルの生活として享受することができるためです。

ローマ8:4 それは律法の義の要求が、肉にしたがってではなく、霊にしたがって歩く私たちにおいて、満たされるためです。6 肉に付けた思いは死ですが、霊に付けた思いは命と平安です。

F 私たちの霊という「スイッチ」なしに、私たちには手順を経た三一の神を、私たちの中にある「天的な電気」として適用する方法がありません。しかし、私たちにはスイッチがあり、それがどこにあるのかを知っているゆえに、主を賛美します！

G 私たちの霊の中で流れる霊という神聖で奥義的な「電流」のスイッチを入れる最も良い方法は、主イエスの御名を呼び求めることです。

H 私たちは自分の霊を活用することを通してその霊と接触するとき、ヨベルの無数で豊富なすべての面であるキリストを享受します。

I パウロは、彼の霊の中で、主に対する彼の初めの愛から神に仕えることによって、命の霊の法則のスイッチを入れた人でした：

①初めの愛をもって主を愛することは、すべての事物、またすべての事柄において彼に第一位を与えることであり、彼を私たちの生活のあらゆるものとして尊重することです。

②神が私たちの中へと入って来て、私たちから出て来るとき、それが彼に対する私たちの奉仕です。私たちは諸召会の中でキリストと共に働き、そこで彼に対する私たちの初めの愛を与えます。

③私たちは初めの愛をもって主を愛するとき、初めのわざを、すなわち、初めの愛から出てくる、また初めの愛を表現するわざを行ないます。初めの愛によって動機づけられているこれらのわざだけが、金、銀、宝石です。

④キリストの引き寄せる愛は私たちに押し迫って、私たちを彼に生きるようにさせ、彼に死ぬようにさせます。

J 私たちは思いを霊に付けることによって、キリストをヨベルとして享受します。「肉に付けた思いは死です

が、霊に付けた思いは命と平安です」(ローマ8:6)。

K. ローマ第8章のヨベルは、キリストのからだの実際、すなわち、ローマ第12章から第16章において示されている、成就された神・人の団体の生活です。この実際は、新エルサレムにおいて究極的に完成します。こういうわけで、ローマ第8章は、聖書全体の焦点であり、宇宙の中心です：

①神は、ご自身を命の霊の法則として私たちの中へと分与することによって、彼のエコノミーを完成します。

②命の霊の法則は、私たちを構成し、あらゆる種類の機能を持つキリストのからだの肢体とならせます。

③私たちは、内側の命の霊の法則の自然な、自動的な機能を通して、神を認識し、神を獲得し、それによって神を生きることができるようになります。私たちはこの事によって、神をもって構成されます。それは、私たちが彼の増し加わりと拡大となり、彼の豊満となって、彼を表現するためです。【金】

IV. ヨベルの生活は、キリストを享受する生活、すなわち、神を私たちの嗣業、また真の自由として享受する生活です：

A. ヨベルの中にいることは、主イエスを良き地の真の産物として食べることに、彼を私たちの安息のための住まいとすること、罪の奴隷状態から解放されること、律法と宗教の束縛から解放されることです。

B. 人生における三種類の労苦(良い人になろうとする労苦、思い煩いの労苦、苦難に遭う労苦)から解放される唯一の道は、キリストを私たちの享受、満足、安息とすることです。

C. クリスマン生活は、主を享受することに満ちた生活、喜びと賛美に満ちた生活であるべきです。私たちが主に完全に享受するとき、彼は私たちのヨベルとなります：

①勝利を得る生活の音色は、絶えず神を喜び、神に感謝し、神を賛美する音色です。

②勝利を得る命は、感謝をささげ賛美する環境の中でのみ存続することができます。

D. ヨベルの生活は、私たちがあらゆる状況の中で神ご自身を取り入れ、キリストご自身を取り入れる生活です。その時、彼は私たちの中で、主要な要因また中心となって、私たちを導き、人生のすべての困難を克服してください。

E. パウロは、ヨベルの中に生きる秘訣を学びました。すなわち、どのような種類の環境の中でもキリストを獲得する秘訣を学びました。ピリピ4:6 何事にも思い煩うことなく、あらゆることにおいて、感謝をささげることに伴う祈りと願い求めによって、あなたがたの要望を神に知らせなさい。7 そうすれば、人知をはるかに超えた神の平安が、あなたがたの心と思考を、キリスト・イエスの中で護衛してくださいます。4 主の中でいつも喜びなさい。私は繰り返して言います。喜びなさい。

F. あらゆる事は彼の主権の下にあるので、私たちは次のように祈るべきです、「主よ、私を満たし、私を得て、私を所有してください。私の外側の状況がどうであろうと、私はただあなたを享受したいのです」。

G. 私たちは福音(恵みのヨベルとしてのキリスト)を生き、告げ知らせることによって、今日の奉仕者また証し人となって、神の永遠のエコノミーを完成する必要があります。【土】

経験①: 神の家に帰り、所有としての神に帰る

私たちは神をヨベルの所有として享受し、ヨベルの自由を得ます。…私たちはヨベルの所有を見ました。今、私たちはヨベルの自由を見ます。所有と自由は両方とも積極的なものですが、それらの間には違いがあります。ある人は所有よりも自由を得たいと言うでしょう。しかし、この観念は正しくありません。私たちの所有は神です。私たちは神よりも自由がほしいと言って、神を放棄することはできません。神なしに自由はありません。私たちの所有は神です。そして私たちの自由は神を享受することから来るのです。私たちは所有を持ち、その所有を享受した結果、自由があるのです。自由は圧迫や不足のないことです。…何と神に感謝したらよいことでしょうか！ 神は今日、私たちの所有です。神を享受する時、私たちには自由があります。

旧約聖書はヨベルの年を非常によく描写しています。レビ記第 25 章は長い章ですが、二つの重点があるだけです。第一の点は、ヨベルの年に彼らの所有を失った人たちがみな帰って来たということです。その所有が元の持ち主に戻されたのではなく、持ち主がその所有に戻されたのです。一面、人は所有を離れて、失いましたが、もう一面では所有は彼を失ったのです。私たちが神を失ったのでしょうか、それとも神が私たちが失ったのでしょうか？ 両方とも正確です。私たちは神を失い、神は私たちが失いました。すでに見たように、ルカによる福音書第 15 章の放蕩息子のたとえは、ヨベルの年の例証です。私たちはみな本当の放蕩息子です。今日、王、大統領、大臣、議員たちでさえ、放蕩息子です。このたとえで息子が父を失ったのでしょうか、それとも父が息子を失ったのでしょうか？ このたとえは大部分、息子が父を失ったことについて語っているではありません。24 節で父は言いました、「私のこの息子が死んでいたのに生き返り、失われていたのに見つかったのだから」。この節から見る事ができますが、父が息子を失ったことは、息子が父を失ったこと以上に強調されているのです。ですからヨベルの年の強調点は、所有が私たちに戻ることではありません。そうではなく、私たちが所有に戻されるのです。重要なのは神が私たちに回復されるのではなく、私たちが神に戻されることです。ヨベルの年における最大の祝福は、私たちが所有としての神に戻されることなのです。これがレビ記第 25 章の最初の重点です。

新人編

新人の皆さん、神の家である教会によろこそ！ 私たちは神と共にあなたがたを大歓迎します。新しく救われたり、引っ越ししたりして教会生活に入って来た新人の皆さんは、新約時代がヨベルの時代であることを認識してください。主は叫び声を上げ、角笛を吹き鳴らし、あなたがたに解放を知らせ、自分の所有地に帰らせ、自分の家族に帰らせられます。

ルカ 4:18 「主の霊が私の上にある。彼が貧しい人たちに福音を宣べ伝えるように、私に油を塗られたからである。彼は私を遣わして、捕らわれ人たちには解放を、盲人たちには視力が回復されることを告げ知らせ、圧迫されている人たちを解放して去らせ、19 主の受

け入れる年、ヨベルの年を告げ知らせるのである」。FN「ヨベルの年」:ヨベルの年で予表された新約の時代。それは、罪の捕囚から戻って来た者たちを神が受け入れる時代であり、罪の束縛の下に圧迫されていた者たちが神の救いの解放を享受し、新約のヨベルにあずかる時代です。

あなたは罪の捕囚から解放されて教会生活に戻ってきました。教会生活において神ご自身があなたの享受のための所有であり、この所有を享受する時、あなたは解放にあずかることができます。あなたは決して自分を貧しい者であると考えてはいけません。あなたは神を所有しているのですから、大富豪より豊かな人です。あなたの所有である神を享受する時、あなたは妬み、競争心、怒りの爆発、情欲から解放されるので、あなたはクラスメイトとは異なり、真に豊かな人になることができます。ハレルヤ！

祈り:「おお主イエスよ、私を罪の捕囚から解放してください。感謝します。今私は家に帰り、神を私の所有としています。教会生活の中で私は毎日兄弟姉妹と共に神を享受します。そうするならば真に豊かな人になることができます。主を賛美します。ハレルヤ！」

経験②: 命の霊の法則にスイッチ・オンする

罪の力は強く、私たちの力は弱いです。罪の力はいつも勝利であり、私たちの力はいつも失敗です。パウロが罪は法則であると見た時、彼はすべての方法はすべて駄目であると知りました。彼が決心しても全く役に立たないし、意志は絶対に罪の法則に打ち勝つことができません。これは大いなる発見でした。これは大いなる啓示でした。

パウロは、人が救われるのは意志によらないことを見ました。人がまだ意志の力に頼っている時は、神の救いの方法に頼ることができません。ある日、神の御前にひれ伏して、自分には方法がないことを認めて、何もしない時、何が救いであるかを見ることができるでしょう。そしてローマ人への手紙第 8 章を理解することができます。兄弟姉妹、ローマ人への手紙第 7 章を軽視しないでください。私たちにまず第 7 章の認識があってはじめて、第 8 章が経験できます。問題は、あなたがローマ人への手紙第 8 章の教理を理解したかどうかではなく、あなたが第 7 章から出てきたかどうかです。多くの人はローマ人への手紙第 7 章の中にうずもれています。彼らはなおも意志の力を用いて罪を対処しようとしています。その結果はただただ失敗です。あなたが、罪は法則であり、意志は罪の法則に打ち勝てないことを見ていないなら、ローマ人への手紙第 7 章の中に閉じ込められてしまい、永遠にローマ人への手紙第 8 章に至ることができません。…あなたが決心したりもがいたりすることは、みな徒勞であることを見る必要があります。

聖霊も法則であるのを見ることは、さらに大きな発見です。…すべての勝利はみな、無意識のうちに得るものです。それは聖霊の法則が働いているからであって、私たちが意志を用いて自分をしっかりつかまえる必要はありません。…あなたの内に住んでいる聖霊があなたに罪を犯させないので、罪を犯さないように決心する必要はないことを知ることができます。あなたの内に住んでいる聖霊が

あなたに勝利を得させるのですから、勝利を得ようと決心する必要はありません。この法則は私たちの内側に住んでおり、罪と死の法則から私たちを解放します。

中高生/大学生編

あなたは罪の法則に対して解放されることを願い、もがく経験をすべきです。そしてこの経験の結論は、あなた自身ではサタンの罪の法則に打ち勝つことができないということです。この結果あなたは自分自身に対して失望することを経験します。これがパウロのローマ 7 章での経験です。ローマ 7 章の経験がなければ、あなたはローマ 8 章の命の霊の法則の解放を経験することはできません。もちろんあなたはローマ 7 章の失望にとどまり続けてもいけません。失望の後、命の霊の法則の大発見に至ることができるべきです。

罪の法則はいつもあなたの善を行なおうとする法則に打ち勝ちます。同様に命の霊の法則は、いつも罪と死の法則に打ち勝ちます。あなたが勝利の生活をすることができるのは、決してあなたの強い意志によるものではありません。それはあなたが命の霊の法則を発見し、その法則にスイッチ・オンすることによります。この法則にスイッチ・オンする最も簡単な方法は、主の御名を叫ぶことです。例えば、あなたは勉強が嫌になった時、頑張ろうとしてもできない時、主の御名を呼び、命の霊の法則に、スイッチ・オンして、罪と死の法則から解放されることを経験することができます。

祈り:「おお主イエスよ、私は罪の束縛から解放されようともがいてきましたが、いつも失敗しました。しかし主に感謝します。私はパウロがローマ 7 章でもがき、失敗し、自分に失望しているのを見出しました。この経験はパウロをローマ 8 章の命の霊の法則の解放に導いたのです。これは私にとって大発見です！ 私はもはや自分に頼らず、主の御名を呼び、命の霊の法則にスイッチ・オンして、すばらしい解放を経験します！ アーメン！」

経験③:ヨベルの生活を享受して、人生の三種類の労苦から解放される

人の生活には三種類の労苦があります。第一種類の労苦は、良い人になり、良い振る舞いをし、性格を改善する労苦です。…しかし、だれも振る舞いや性格を改善し、律法を守り、善い、忍耐強く、親切で、正直であろうとするわざによって救われることはできません。第二種類の労苦は心配し、思い煩うことです。思い煩いの下で労苦するのは何と困難な仕事でしょう！ もし何の思い煩いもなく日ごとに仕事をすることができるなら、あなたは健康な人でしょう。…思い煩いを逃れる唯一の道は、主を享受することです。私がキリストを享受していないときはいつも、思い煩いがあります。

聖書に啓示された第三種類の労苦は苦難に遭うことです。苦難に遭うことは非常に厳しい労苦です。私たちがヨベルの中で神を享受するとき、何の苦難もあるべきではありません。例えば、パウロは肉体にある一つのとげで苦しみました。このとげについて、彼はそれが彼から取り去られるようにと、三度も主に懇願しました。しかしながら、そのとげを取り除くのではなく、主は彼に言われました、「私の恵みは、あなたに対して十分である」(Ⅱコリント 12:9)。主はパウロにこう告

げておられるようでした、「いや、私はとげを取り除かない。なぜなら、私の恵みは十分だからである。私を享受するなら、あなたは何の苦しみも持たない」。…使徒行伝第 16 章において、…パウロとシラスは獄にいましたが、享受、満足、安息を持っていました。

主は勝利を得て、私たちは勝利の中で叫んでいきます。これが勝利の生活の音色です。私たちはみな、日々の生活の中でこの種の勝利の音色を持つべきです。…勝ち得て余りがあるとは、絶え間なく勝利していることであり、いつも勝利の音色を持つことです。

あらゆる事は彼の主権の下にあります。ですから、私たちは自分を空っぽにして、あらゆる物を取り除き、次のように主に告げるべきです、「私を満たし、私を得て、私を所有してください。主よ、私の外側の状況がどうであろうと、私はただあなたを享受したいのです」。

在職青年/大学院生編

OL: 人生における三種類の労苦(良い人になろうとする労苦、思い煩いの労苦、苦難に遭う労苦)から解放される唯一の道は、キリストを私たちの享受、満足、安息とすることです。クリスチャン生活は、主を享受することに満ちた生活、喜びと賛美に満ちた生活であるべきです。私たちが主を完全に享受するとき、彼は私たちのヨベルとなります。

あなたはビジネス・パーソンとして、ヨベルの生活を享受して、三種類の労苦から解放されることを経験してください。あなたは良い人になろうとするのではなく、主の証しのために実績を残す人になるべきです。また「出世できないのではないか」、「後輩や女性社員に抜かれるのではないか」、「会社をクビになるのではないか」、「競合に負けるのではないか」、「会社が倒産するのではないか」などの心配事を神との交わりの中で神に知らせ、平安の神によって護衛されることを経験してください。

ピリピ 4:6 何事にも思い煩うことなく、あらゆることにおいて、感謝をささげることを伴う祈りと願い求めによって、あなたがたの要望を神に知らせなさい。7 そうすれば、人知をはるかに超えた神の平安が、あなたがたの心と思考を、キリスト・イエスの中で護衛して下さいます。

祈り:「おお主イエスよ、心配事でさいなまれることから私を解放してください。祈りの中で心配事を神に知らせます。平安の神が私の心を護衛してください。」

401 キリストを経験する—解放する方として (英 540)

- 1 キリストはわれを 自ゆうとされる;
すべて死のとげは、われよりはなる。
(復) 十字架のしょう利で、勝ち得てあまる;
復かつのいのちは、われをつよめる。
- 2 のりのようきゆうに われすでに死ぬ;
二度としばられず、めぐみにて生く。
- 3 主、十字架でつみを さばいて、のぞく;
もはやわがうちに つみの地位なし。
- 4 死ははいせられて、朽ちぬいのち見、
死のきずな断たれ、ふつつを知る。
- 5 あく魔もこの世も、踏みくだかれた;
いのちとひかりの 王こくにはいる。
- 6 満ち足りるめぐみ、われらをつつむ;
よわさのなかにて、主のえい光見る。